

県議会議会 いしかわ



石川県議会
マスコットキャラクター
石若丸
いし わか まる

国立工芸館移転開館で厚みを増した 工芸王国の魅力を地域活性化に活かす

日本海側初の国立美術館として昨年10月に移転開館した東京国立近代美術館工芸館（通称：国立工芸館）。陶磁、ガラス、漆工、木工、竹工、染織、金工、人形、デザインなど、明治以降の幅広い作品を収集・展示しており、工芸史を彩ってきた名品の数々をお楽しみいただけます。

また、昨年7月の金沢城公園の鼠多門と鼠多門橋の完成により、長町武家屋敷から尾山神社を経て、金沢城、兼六園、そして国立工芸館がある本多の森公園に至る加賀百万石回遊ルートが誕生し、ルート沿いの観光・文化施設を巡る新たな魅力が形成されています。

県議会では、国立工芸館の移転開館を機にさらに厚みを増したふるさとの文化土壌を活かした地域活性化に知恵を絞っています。県民の皆さまとともに、石川の一層の発展に尽くしていきます。



今号の
トピックス

- キーワードで見る県議会「新型コロナウイルス感染症」
- 石若丸が教える！1からわかる「県議会教室」

キーワードで見る県議会

「新型コロナウイルス感染症」

「昨年10月、冬の流行期に備えて知事に提言」 いしかわにおける新型コロナウイルス感染症と 「新しい生活様式」に関連する政策提言

新型コロナウイルス感染症の影響で日常生活は大きく変わり、あらゆる場面で「新しい生活様式」の徹底が求められています。県は、財政調整基金を大きく取り崩す大規模な補正予算を編成し、感染拡大防止対策に取り組んでいるところです。

こうした中、県議会では昨年7月以降、医療や福祉の関係団体などの状況を調査しました。その結果、さらなる対策が必要であることから、『いしかわにおける新型コロナウイルス感染症と「新しい生活様式」に関連する政策提言』を議会の総意として取りまとめ、10月に知事に提言しました。

感染症の冬の流行期が到来し、ウイルスと共存せざるを得ない状況はしばらく続くと言われていきます。県民の暮らしを守るため、県議会では、この提言を踏まえ、知事に対して具体的な施策を推進するよう求めています。



谷本知事に直接提言しました

提言の主な内容

1. 差別・偏見の根絶

感染者や医療従事者、またその家族などへの全ての差別・偏見をなくすため、さまざまな広報媒体や学校教育を通じた啓発など。

2. クラスター対策のさらなる充実

長期的な視点で必要となる感染管理認定看護師の資格取得を推進するための環境整備や福祉施設間の連携体制強化への支援など。

3. 検査体制の強化

PCR検査について、施設等へのウイルス持ち込みを防止するため、入所前の介護・高齢者施設利用者などが検査できるような体制の整備など。

4. その他の施策に関するもの

感染者や医療従事者などへの心のケアの強化や、継続的な感染防止対策の財源確保に向けた国への働きかけなど。

提言の詳細は石川県議会ホームページでご確認ください



新型コロナウイルス感染症に関する主な質問と答弁（11月定例会）

医療・検査体制について

Q. 新型コロナウイルス感染症にどのように対処していくのか。

A. 新型コロナウイルス感染症対策の重要な柱である医療提供体制と検査体制の確保について、県下全域の医療機関の協力を得て、宿泊療養施設も含め、国が示す病床確保の目安を大きく上回る598床を確保するとともに、検査能力についても、国が示すインフルエンザ流行期に発熱患者が大幅に増加した場合の検査需要を上回る、1日当たり最大約4,700件の検査体制を確保している。

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念される冬場を迎え、県民の皆様には、改めて「新しい生活様式」として、マスクの着用、手洗い・手指消毒の実施、三つの密の回避などの基本的な感染症対策の徹底をお願いするとともに、事業者の皆様には、引き続き、業種別ガイドラインの遵守をお願いしたい。

差別・偏見の防止について

Q. 感染者などに対する差別や偏見の防止にどのように取り組むのか。

A. 感染者や医療従事者などの関係者とその家族などに対する差別や偏見につながる行為は断じて許されないものであり、これまで機会あるごとに県民の皆様に対して、このような行為を厳に慎むなど、冷静な対応をお願いしている。加えて、ホームページ、新聞、テレビ、SNSのほか、広報紙などでも感染防止策と併せて、重ねて訴えている。

9月議会での「コロナ差別根絶に関する決議」や、10月に県議会でとりまとめられた「政策提言」で、差別・偏見の根絶が盛り込まれたことも踏まえ、引き続き、県議会の皆様とともに、一層の啓発・周知に努める。



寄附金の状況と活用策について

Q. 新型コロナウイルス感染症対策応援基金への寄附の状況と活用策は。

A. 2020年7月に設置した基金には、多くの方々に基金の趣旨に賛同いただき、個人だけでなく、企業からも寄附が寄せられており、これまでに194件、約1億1000万円の寄附が寄せられている。

寄附された方々からは、医療支援などの新型コロナウイルス対策にぜひ役立ててほしいという声を多数いただいている。最前線で奮闘される医療従事者と医療機関に対する支えとなるよう、具体的な活用策を検討しており、今年度内に示したい。

試験会場での感染防止対策について

Q. 県立高校の試験会場で、今年度はどのような感染防止対策をとるのか。

A. 昨年度の公立高校入試では、国からの通知を踏まえて、試験当日は、一つの教室内35人程度を限度とし、一定の距離をとっての机の配置、試験会場の机や椅子などのアルコール消毒、こまめな換気の実施、受検者や監督者のマスクの着用などの対策を行ったほか、試験前日の下見の取りやめ、合格番号等の掲示箇所の複数配置なども行った。

また、新型コロナウイルスに感染し、全日制高校の一般入学試験を欠席することになった場合は、インフルエンザなどによる欠席者と同様に、追検査で対応することとした。

こうした昨年度の対応、および2021年3月時点での感染状況を踏まえ、必要な感染症対策を講じていきたい。



基金への寄附の詳細は石川県ホームページでご確認ください
石川県県民文化スポーツ部 県民交流課
TEL 076 (225) 1361



感染拡大を予防するため「新しい生活様式」を実践しよう。



マスクの着用 「3密(密閉・密集・密接)」の回避 こまめな換気 など....

第3回 石若丸が教える!

1からわかる「県議会教室」

“予算・条例が決まるまで”



県議会の役割や仕事を紹介するシリーズ企画「県議会教室」の第3回のテーマは、「予算・条例が決まるまで」。どのようなステップを経て、県の仕事がまとめられていくのかを解説します。

本会議→委員会→本会議で慎重に審議

Question

石川県が策定した予算や、さまざまな条例はどのようにして決められているのですか？ 私たちの生活に関わるとても大切なことだから、しっかりと話し合っ決めてほしいです。

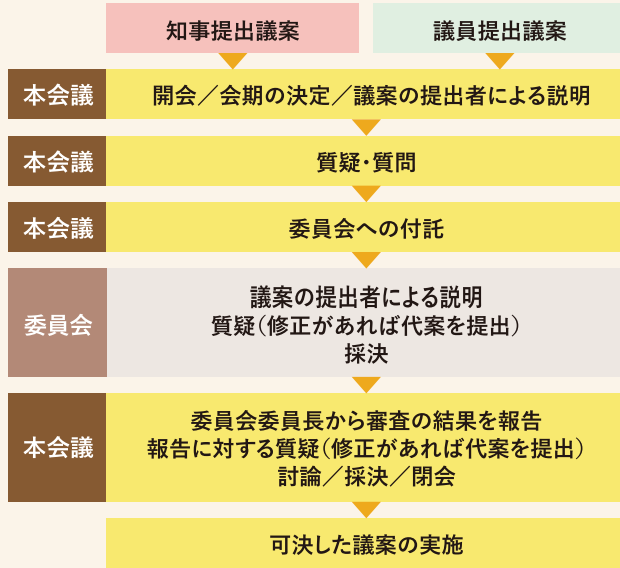
Answer

予算や条例が決まるまでには、いくつかのステップがあり、その度に丁寧な議論を重ねています。まず予算や条例など県の提案する議案は、議長らの宣告で開会した本会議で県側の代表である知事が内容を説明します。そして、議案などに

関連して議員が質疑・質問しながら話し合います。

ただし、この本会議だけで議論は終わりません。さらに詳しく内容を審査するため、議案は関連する委員会に送られ、所属議員がいろいろな角度から調査します。これを「付託議案審査」と言い、委員会として賛成・反対を採決します。その後、本会議で各委員長が審査結果を報告し、もう一度、議員全員で話し合い、賛成か反対かを採決。採決の結果は議長から知事に通知され、県ではこの結果をもとに仕事を進めています。

また、議案については知事が提出するものだけでなく、議員が提案する条例などもあります。提案者である議員が議案について説明し、同じステップで採決へと進みます。



県議会の活動を伝える広報紙

県議会 だより

第35号

編集・発行 / 石川県議会 (年4回発行)
令和3年1月26日発行

県議会の傍聴や見学ができます!

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索



県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。



メールアドレス
gikai@pref.ishikawa.lg.jp